


政務調査研究視察 報告書

平成18年12月18日提出

視 察 日	平成18年10月23日（月）～10月25日（水）	
視 察 先	三木市、岡崎市、三次市	
視 察 内 容	学校給食の民間委託について	
視 察 者	山本雅宏、鈴木豊、田口正夫、山崎憲伸、園山康男 (24～25日) 野村康治、柴田 泉、清水 勇	(23～24日) 中根義金 計9名
三 木 市	<p>＜三木市：学校給食の民間委託について＞</p> <p>1、学校給食の民間委託の概要 民間企業が培ってきた手法を導入することにより、児童や保護者のニーズに応えることができる柔軟で効率的な給食調理業務の運営を図ることを目的として、平成16年9月より順次導入し、現在4調理場を委託している。委託内容は、給食調理業務の調理、配食、運搬、洗浄及び消毒。その他これに付帯する必要業務一式とし、給食物資の選定・購入及び献立の作成は教育委員会及び学校給食会が行っている。</p> <p>2、学校給食の民間委託の経緯 平成12年9月に策定した「学校給食業務の運営合理化実施計画」に基づき、過員状態にあるパート調理員について適正配置を行うとともに、退職を勧奨し、その上で調理員の欠員補充を行わず、調理業務に民間委託を導入する方針を決定した。その後、平成15年12月に「三木市学校給食調理業務委託実施要領」を策定し、平成16年9月より民間専門業者に業務委託することにした。</p> <p>3、学校給食の民間委託の効果 給食の運営が学校行事等に柔軟に対応できるようになり、また、直営に比べ、給食事務の運営経費を節減することができた。それに、献立にふさわしい食器を使用したり、土曜日の給食の実施（参観日など）、2種類のメニューから一つを選択する「選べる給食」の実施など、新たな取組みを実施している。</p> <p>4、学校給食の民間委託の課題 保護者は、児童の食に関わる学校給食に関心が高い為、委託にあたってはあらゆる機会をとらえ、説明や周知を行い、保護者の理解を得ることが大切であり、委託後も、給食の状況を知らせる継続的な対応が必要である。また、業務選定にあたっては、いかにその能力を見極めるかが重要である。</p> <p>5、学校給食の民間委託の評価 「選べる給食」など、いろいろな工夫がされており、子どもが給食のことをよく聞くようになり、給食が身近に感じるようになったとか、良い評価が多い。</p> <p>〔感想・岡崎市への反映〕 三木市は経費を安くするだけの民間委託ではなく、食は命にかかわる大切な問題として、長期的に安定して供給継続できる業者をプロポーザル方式で選定し、少々高くても安心な業者を採用している。また市職員の民営化に対する取組みの意識の高さを強く感じた。 「経費削減」「人件費削減」も大切だが、それだけの理由でなく、何故民間委託しなければならないのかの問題意識を持ち、実態の調査、現状把握が先決である。 三木市は今回の民間委託の評価として、マイナス面の意見は無く、むしろもっと増やしてほしいとの要望が多く、成功している例といえる。 岡崎市も給食センターについては民間のノウハウを活用した PFI 方式での建設の検討の議論も必要であると感じた。</p>	
三 木 市	 <p>▲講習風景</p>	

